

ミズトンボ	<i>Habenaris sagittifera</i> Rchb. f.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		ラン科
選定理由	湿地の開発や園芸目的の採取圧がある。	<p>写真(山崎玲子)</p>   <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
形態の特徴	高さは40-70cm。葉は線形。淡緑色の花を茎の上部に多数付ける。唇弁は3裂し、十字状になって垂れる。距は1.5cm程で先端が小さな球状になる。根は楕円形の球茎の上に細長い根がある。花期は8-9月。	
生態的特徴	山地の湿地に見られる。	
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方と美濃地方東部に分布する。	
減少要因	湿地の開発や園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。湿地の保全に努める。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	花の形をトンボに見立てて名前が付く。	
参考文献		

文責:山崎玲子